

2023年2月1日

小型耕うん機「サ・ラ・ダ FF300 20周年記念モデル」の受注開始 ～1,000台限定で2023年春に発売～

Hondaは、小型耕うん機「サ・ラ・ダ FF300」の発売20周年を記念した「サ・ラ・ダ FF300 記念モデル」の受注を、本日、全国のHondaパワープロダクツ取扱店にて開始しました。本製品の発売は、2023年春を予定しています。

また、同様に20周年を記念して、「サ・ラ・ダ」シリーズをご愛用いただいているお客様の声などをご紹介する「サ・ラ・ダ 20周年スペシャルコンテンツ」を本日公開しました。

サ・ラ・ダ 20周年 スペシャルコンテンツ：
<https://www.honda.co.jp/tiller/salad20th/>



サ・ラ・ダ FF300 20周年記念モデル



サ・ラ・ダ FF300 20周年記念モデルによる耕うん作業

2003年に販売を開始したサ・ラ・ダ FF300は、簡単・コツ要らずの操作性と力強い作業性能を両立したフロントロータリー式小型耕うん機です。Honda独自の同軸・同時正逆転ロータリー「ARS（アクティブ・ロータリー・システム）」の採用により、爪が土にしっかりと食い込むことで初心者でも簡単に深く耕せるほか、優れた直進安定性を実現しており、家庭菜園を楽しむお客様を中心に支持をいただいています。

今回台数限定で販売するサ・ラ・ダ FF300 20周年記念モデルは、フェンダー部に20周年限定のオリジナルデザインラベルを配置。赤いボディにグリーンが映える特別なデザインでお届けします。また20周年記念ロゴを配した限定ボディカバーも付属しています。

Hondaの耕うん機開発の歴史は古く、1950年代に遡ります。当時、急激な高度経済成長期の担い手として農村を離れた働き盛り世代に代わり、農作業の主軸となった女性や高齢者にも扱いやすく、高い作業性を実現する耕うん機をつくりたいという思いから、1959年にHonda初の耕うん機「F150」を発売しました。



サ・ラ・ダ FF300
20周年記念ロゴ



サ・ラ・ダ FF300
20周年記念ロゴ入り
ボディカバー



Honda初の耕うん機 F150

1980年には、家庭菜園や小規模農園における需要の高まりを受け、車軸ローター式小型耕うん機「こまめ F200」を発売。エンジンから耕うん爪までをタテ型に配置することで、コンパクトで取り回しがしやすく、手軽に耕うん作業を楽しめるモデルとして、小型耕うん機市場を牽引しました。

取り回しのしやすさと優れた作業性能を両立し、誰もが簡単な操作で上手に家庭菜園を楽しめる製品を目指して開発されたサ・ラ・ダ FF300 が 2003 年に発売されて以降、2004 年に上位モデル「FF500」、2013 年にガスパワー耕うん機「サ・ラ・ダ CG FFV300」が発売され、サ・ラ・ダシリーズはその時代のニーズに応えながらラインアップを拡大してきました。そのシリーズ累計販売台数は約 11 万 7 千台^{※1}と、多くのお客様にお選びいただいています。

今後も、技術で人々の暮らしをより豊かにすることを目指し、お客様のニーズに寄り添う製品をお届けしてまいります。

※1 Honda 調べ（2003 年 3 月～2023 年 1 月）

■販売計画台数（限定） 1,000 台

■メーカー希望小売価格

モデル名（タイプ区分）	メーカー希望小売価格 （消費税 10%込）	消費税抜き本体価格
FF300S（LT2S）	187,000 円	170,000 円
FF300S（LHTS） アタッチメント対応のヒッチ標準装備タイプ	199,980 円	181,800 円

■主要諸元

名称	サ・ラ・ダ FF300S	
型式名	FBFJ	
タイプ区分	LT2S	LHTS
全長×全幅×全高（mm）	1,465×465×1,015	
機体質量〈全装備重量〉（kg）	51	56（ヒッチ装着時）
エンジン	名称	GXV57T
	種類	空冷 4 ストローク単気筒 OHV
	総排気量（cm ³ ）	57.3
	連続定格出力／回転数 [kW/(PS)/rpm]	1.0[1.4]/4,000
	最大出力／回転数 [kW/(PS)/rpm] ^{※2}	1.5[2.0]/4,800
	使用燃料	自動車用無鉛ガソリン
	燃料タンク容量（L）	1.0
	点火方式	トランジスタ式マグネット点火
	始動方式	リコイルスターター（手動）
主クラッチ形式	シュークラッチ	
走行変速段数（段）	前進 3（耕うん 2）、後進 1	
ロータリー	耕幅（mm）	450/290〈内爪時〉
	爪径（mm）	280
	回転数（rpm）	131
JAN コード	4945943203841	4945943203834

※2 SAE J1349 に準拠の表示回転数（エンジン最大出力）で測定した代表的なエンジンのネット出力値。量産エンジンの出力は諸元値と異なることがあります。また、完成機に搭載された状態での実出力値はエンジン回転数、使用環境、メンテナンス状態やその他の条件により変化します